

第 13 回フットサルリボン慰問レポート

フットサルリボン 須藤 聖子

- ・日時:2016年2月9日
- ・場所:東京都内大学病院
- ・参加人数:入院中患者 10名
スタッフ、家族 9名
- ・参加年齢:小学生～高校生
- ・訪問者:湘南ベルマーレフットサルクラブ 久光 重貴選手
フウガドールすみだ 稲葉 洸太郎選手
- ・協賛:ブルータグ株式会社
株式会社アントレックス
株式会社ドリブルジャパン
ATHLETA☆☆☆



目的:

- ・ボールを使ったスポーツの楽しさ、素晴らしさを体験する。
- ・リーグの現役選手の生活や夢を知り、プロスポーツ選手の仕事について理解を深め、職業観を養う。
- ・病気や怪我と向き合いながら、選手を続ける、各選手の生き方、考え方を学ぶ。

1. 子ども達との触れ合い

第1部

ボールを使ったアクティビティ

病院スタッフより、各選手の紹介の後、久光選手、稲葉選手がそれぞれに挨拶の言葉を述べ、早速アクティビティに入りました。



準備運動 椅子に座ってボールをころがす



久光選手の合図でボールを挟む、上げる



立ってボールの上に交互に右足、左足をのせる



二人ペアを組む



二人ペアになって久光選手の掛け声に合わせて右足左足ボールにのせる



右足、左足、座る、立つ。久光選手の掛け声に合わせて、ペアを変えてどちらが早くボールに触ることが出来るか競争しました。



座って久光選手より「**ボールが1つしか無かったら皆はどうする？**

ボール1つでも、皆で楽しむことが出来るからやってみよう」

稲葉選手から順番に時計回りにボールを転がす

「次にボールが2つになったらどうする？ 隣の友達の名前を呼んでパスしよう」

ボール3つまで挑戦お互い声を隣の友達に掛け合いながらボール回しを楽しみました。



現役のフットサル選手のスピードを子どもたちに見てもらいました。2人の選手の真ん中に病院スタッフに立っていただき、そのまた下を病院スタッフにぶつからないように、正確にしかもスピードの速いパス回しには、周りからも感嘆の声が聞こえてきました。

子どもたちも挑戦しました。

「やってみたい人」という声掛けに皆積極的に手を挙げチャレンジしました。

一部の最後は、稲葉選手から10数えるうちにボールを奪えるか、子どもたちが挑戦しました。

いちばん背が高く脚が長い男の子は3で、女の子も6で奪うことが出来ました。

「出来ないかもしれないと思うこともあきらめずにチャレンジしてみよう。チャレンジすることが大切」

と久光選手の言葉で一部は終了しました。

第2部

フリートークの質問コーナ

初めはだれも手を挙げなかったが、久光選手より「今を大切にしてほしい、後で選手に聞けばよかったと後悔してほしくない。自分の思ったことは素直に話してみよう」と促され、皆手を挙げました。



(質問の一部紹介)

Q:フットサルの魅力は何ですか

A:サッカーの盛り上がるのはシュートを決めるゴール前
フットサルは室内だから距離が短くいつでもゴールを狙え、スピード感にあふれている(稲葉洸太郎選手より)

Q:つらかったことはないですか

A:サッカー選手になることは子どもの時からの夢だった
怪我や手術などをして悔しいこともあったが、目標のため
リハビリ、練習も他の人より多くやり、チームメイトとのコミュニケーションも大切にした。

目標に向かい考える、そうすると道筋が見え、日々やる
ことが見えてくる。(稲葉洸太郎選手より)

プレゼントの贈呈



最後に

「フットサルがあったからこそ久光選手と稲葉選手は出会えたとし、怪我や病気にも負けないで選手を続けている。だから皆も目標を持つことが大切。あせらず目の前のことを一つ一つ大切にしよう。いやなこと、つらいことを乗り越えるから人は強くなるし、やさしくなれる。治療を頑張り、体育館に応援に来てほしい！ 今度は体育館で会おう！！」。

2. 病室訪問

アクティビティに参加できなかった子どもの病室を訪問

3. 子ども達の感想カードより

きょうき 今日来てくれたフットサル選手との思い出を書いて下さい！
わさわざ来てくださってありがとうございます。一緒にフットサルしたり、お話が聞けて楽しかったです！また来てくださーい。



きょうき 今日来てくれたフットサル選手との思い出を書いて下さい！

プロのフットサル選手のお話を聞いた。
ボールを蹴ったり貴重な体験が出来て良かったです。
お話を聞き、改めて自分の目標に向かおう
頑張ろうという気持ちになりました。
次、お会いする時は一緒に遊びましょう！
今後のご活躍を期待しています。お話をありがとうございました。
このカードは看護師さんに渡してね！



きょう き せんしゅ お で か くだ
今日来てくれたフットサル選手との思い出を書いて下さい！

あが 言えなからけ
ありがとう♡
うれしかったです！


きょう き せんしゅ お で か くだ
今日来てくれたフットサル選手との思い出を書いて下さい！

私は初めてだから、すごく楽しかった、
うまいきました。ありがとうございました。
私はいい思い出になりました。
yoo


きょう き せんしゅ お で か くだ
今日来てくれたフットサル選手との思い出を書いて下さい！

一糸者にフットサルができて楽しか
たです。退院したら、試合を
みに行きます。



きょう き せんしゅ お で か くだ
今日来てくれたフットサル選手との思い出を書いて下さい！

僕は今回の授業で色々学んだと思います。
その一つは、目標を持つ事です。
目標というものは簡単に決めることはできないです。
でも一日一日しっかり過ごしているとしたら目標が見えて
来ると思いました。
なので僕は一日一日を大切に過ごしたいです。



きょう き せんしゅ お で か くだ
今日来てくれたフットサル選手との思い出を書いて下さい！

H.S
おみやげ
とサインを
ありがとうございました。


3. 稲葉選手の感想

ずっとお手伝いしたかったフットサルリボンの活動に参加することが出来て感謝しています。

あらためて本当に素晴らしい活動だと思いました。

フットサルを通して、みんなが元気になるように、笑顔になるように、そして将来の目標を見据えられるようになるように出来る。そんな活動です。

治療やりハビリを頑張っているみんなとボールを蹴ったり、お話をする中で、自分ももっと頑張らなきゃいけないと感じさせられました。

話のなかで、目標に向かっての日々の積み重ねやその組み立て方のお話をさせてもらいました。

逆にみんなにも少しでもプラスのパワーを与えることが出来ていれば良いなと思います。

最後に一つみんなと約束をしました。

それは治療やりハビリを頑張って退院して、すみだにフリーグを観に来る事です。

次は体育館で会おう！と言って帰ってきました。

みんな頑張って会いに来てくれるとおもうので、自分も日々の練習を大事にして、ピッチで待っていようと思
います！

フットサルリボンの輪がもっともっと広がるように願っています。

終りにりましたが、

病院関係者の皆様のご協力に、深く感謝しております。ありがとうございました。